

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2021年4月9日

Lidl US Sponsors Healthy Kids Program

リドル US がスポンサーとなった子供たちの健康プログラム

バイデン大統領は4月19日までに米国の成人全てをワクチン接種の対象とすると宣言し、CDCは接種スピードが加速している米国において接種後は旅行を許可するとの指針を発表しました。

この発表は、打撃を受けた観光業界にとって明るい回復の要因となっています。今年の夏休みに向けて米国内の観光地の宿泊施設に予約が入り始め、スタッフの再雇用が始まっています。

私の住むカリフォルニア州も先月後半に危険レベルを示す赤から一段階良いオレンジ色へ格上げされ、今週から更にもう一段階上の黄色へ変わりました。

私が年間メンバーで登録している山登りやサイクリングなどのアウトドア用品&ファッションの専門店 REI (Recreational Equipment Institute) では、メンバーが参加できる様々イベントが、オンラインから実際に参加できるワークショップメニューに代わりました。

4月に入ってからカヤック体験や山登りなどの参加募集が始まり、私も参加しようとゆっくり検討していたら、あっという間に4月は定員オーバーで締め切りとなってしまいました。

いくらオンラインを活用して色々な事が出来る世の中になったとは言え、人々にとっては一年以上続いた巣ごもりは長すぎたのでしょうか。

特に育ち盛りの子供たちは学校に通って運動し、友達と遊ぶことも十分に出来ずにいたので、大人以上にストレスが溜まる日々が続いていたようです。

そのような子供たちの為に、ドイツ資本で欧州中心に32か国で1万1千店舗を展開し、米国には2017年度の6月から東海岸を中心に参入し、現在は100店舗以上を出店している小型食品ディスカウントストアチェーンのLidl USが、健康をサポートするプログラムのメインスポンサーになることを発表しました。

パンデミックによって学校がリモートとなり、自宅で座りがちな生活の影響で小児肥満がこれまでになく増加傾向です。

Healthy Kids Running Series（健康な子供たちのランニング・シリーズ）と名付けた健康改善プログラムを普及させるため、Lidl US はそのプログラムの主要スポンサーとなります。



これは2～14歳の子供を対象とし、5週間のランニング・プログラムで毎年春と秋に実際に対面、もしくは仮想世界でレース・コースの内のどれかを選択して、週に1回競い合います。

Lidl US がスポンサーとなる対象地域は、同社チェーンが出店しているワシントンDCをはじめニューヨーク、ニュージャージー、デラウェア、メリーランド、バージニア、ノースカロライナ、サウスカロライナ、そしてジョージア州に住む17000人以上の子供たちです。

彼らがレースへ参加するためにLidlが出資面などをサポートしています。今後は、対面もしくはオンラインで行われるレースをサポートするだけにとどまらず、「I Am A Healthy」と銘打って男女児童のためにオンラインで健康、栄養、

フィットネスプログラミングなど、一年を通して健康を維持することに集中できるような教育の提供にも協力するそうです。

2009年にペンシルベニア州ソートン市拠点でスタートした非営利団体の“Healthy Kids Running Series”の創設者ジェフ・ロング氏は「Lidl US と提携し、幼い子供を持つ家族がアクティブで健康的なライフスタイルを送るように促すことを本当に誇りに思っています。」と述べています。

元々Healthy Kids Running Series は、5週間の楽しいランニング体験をシリーズで提供する全国的なコミュニティベースの非営利団体です。

そして現在は、全米で300を超えるコミュニティの60,000人を超えるユースランナーに影響を与えています。



Lidl US はパートナーシップの一環として Healthy Kids Running Series のソーシャルメディアへの投稿、ニュースレター、ブログなどにも協力し、ローカルで行われるシリーズでのレースを開催する際のホストとしても関わるそうです。

Lidl US のオペレーション担当でシニアバイスプレジデントであるニーナ・シッチャーマン氏は「この素晴らしいパートナーシップを開始して、今年の春と秋に東海岸で 17,000 人以上の子供たちのためのレースシリーズをサポートすることを非常に楽しみにしています。」と熱く語っています。

Lidl US は 2021 年末までにデラウェア、ジョージア、メリーランド、ニュージャージー、ニューヨーク、ノースカロライナ、ペンシルベニア、サウスカロライナ、バージニア州に 50 の新店舗をオープンする計画を明らかにしています。

米国では総人口の約 7%にあたる約 2350 万人が食の砂漠と呼ばれる健康的な食材（果物や野菜などの生鮮食品）が手に入る食料品店が無い場所に住んでいると言われており、その食の砂漠の約半数が貧困層との統計があります。

食の砂漠では失業率も高く、車などの移動手段が無い人が多く住んでいると言われています。

これらの地域に住む人々の健康状態は悪く、特に子供たちの肥満問題が深刻です。



米国に暮らす子供の約 20%、5 人に 1 人が小児肥満であり、そのままの状態
で大人になると、早い時期から糖尿病や高血圧、がんなどの様々な病気を発症し、
早死にする可能性が高まるとの報告があります。

ちなみに大人の肥満率は 40%で大人も子供も含めてその率が高いのが低所得
者層に集中しており、新型コロナウイルス感染が悪化して命を落とした人々もこ
れらの層に集中していました。

食品ディスカウントチェーンの多くはミドルクラスから所得の低い人々が暮ら
す地域にも出店しており、食品チェーンがイニチアチブを取って子供たちの健康
プログラムに取り組む事は、社会にとっても非常に良い兆しです。

2020 年はパンデミックに始まり、その間には人種差別に関する事件や暴動が
起き、混沌とした時期が続きました。

ですがそのことをきっかけとし、社会的弱者を救済していく方向への動きは、
子を持つ親としては有難いことと感じています。

いよいよ私もワクチンを接種致します。



周辺では高い確率で、副反応の熱が出ている人もおりますので、少し不安ですが
一方では終息へ向かって少し前に進めるような期待も抱いております。
また、詳細を報告いたします。